



コウノトリ育む農法取り組み経過

年 度	内 容
平成14年	<ul style="list-style-type: none"> ●兵庫県但馬県民局地域振興部内にコウノトリプロジェクトチーム結成 ●「コウノトリ育む農法」(H17命名)の推進計画検討開始 ●コウノトリと共生する農業を支える手段として「ひょうご安心ブランド」の推進開始 ●コウノトリの郷営農組合設立、生産総合推進事業で減農薬無化学肥料栽培試験開始
平成15年	<ul style="list-style-type: none"> ●田園自然環境保全再生支援事業で全国先進的な指導者を招き、指導会や生きもの調査等開始 ●コウノトリと共生する水田自然再生事業で常時湛水やビオトープの設置開始 ●コウノトリの郷営農組合と豊岡エコファーマーズが栽培期間中化学農薬化学肥料不使用試験開始 ●豊岡市がコウノトリの舞制度、JAたじまがコウノトリの贈り物制度制定
平成16年	<ul style="list-style-type: none"> ●「コウノトリ育む農法」の減農薬タイプの普及版栽培指針を作成 ●コウノトリの郷営農組合、県普及センター、豊岡市、JAたじま関係者で曆を統一し、販売開始
平成17年	<ul style="list-style-type: none"> ●「コウノトリ育む農法」の定義と要件を定め、生産・流通・販売体制の整備開始 ●「コウノトリ未来国際かいぎ」で「コウノトリ育む農法」を発表 ●3年間の実証結果を検証し、無農薬タイプの栽培指針を作成
平成18年	<ul style="list-style-type: none"> ●但馬全域に「コウノトリ育む農法」推進開始 ●豊岡市全域の取り組み団体と個人が参画した「コウノトリ育むお米生産部会」(JAたじまが事務局)設立 ●酒米の「五百万石」、「フクノハナ」で無農薬タイプ栽培開始 ●兵庫県立農林水産技術総合センター内に「環境創造型農林水産業支援チーム」結成、試験研究開始 ●新田小学校「新田プロジェクトE」が育む農法無農薬タイプの栽培及びトトロ暦の調査開始 ●養父市、朝来市でコウノトリ育む農法の取り組み開始
平成19年	<ul style="list-style-type: none"> ●「コウノトリ育む農法」が普及している地域を中心に「農地・水・環境保全向上対策(営農活動支援)」の導入が進む ●水稻→菜種(ヘアリーベッチ等緑肥作物)→大豆→育む農法無農薬タイプの輪作体系検討開始
平成20年	<ul style="list-style-type: none"> ●スーパーサイエンスハイスクール事業で兵庫県立豊岡高等学校が生き物調査・水質調査・土壌調査を開始
平成21年	<ul style="list-style-type: none"> ●コウノトリ育むお米生産部会を但馬全域に5支部を持つ組織として再編(豊岡北部、豊岡南部、養父、朝来、新温泉) ●大豆についてコウノトリ育む農法の要件を設定
平成22年	<ul style="list-style-type: none"> ●JAたじまコウノトリ大豆生産部会設立 ●豊岡市で第1回生物の多様性を育む農業国際会議を開催 ●中国とのコウノトリ育む農法を介した交流開始
平成23年	<ul style="list-style-type: none"> ●コウノトリ大豆6集落営農組織へ拡大
平成24年	<ul style="list-style-type: none"> ●コウノトリ育む農法アドバイザー研究会結成 ●一斉生きもの調査日(6/26)の設定
平成25年	<ul style="list-style-type: none"> ●水稻共済予察事業と連携した生きもの調査の実施 ●パン用新品種「こなだもん」試作
平成26年	<ul style="list-style-type: none"> ●成苗ポット苗による無農薬タイプ収量向上実証開始(豊岡市)
平成27年	<ul style="list-style-type: none"> ●平成27年度コウノトリ育むお米生産部会 生産者大会

